

# 県内経済とくらしむき

## 長崎県県民生活部統計課

### 〔1〕おもな動き

【推計人口】 …… 8月

平成29年8月1日の推計人口 1,355,082人  
世帯数 562,902世帯

参考：H27.10.1 現在国勢調査総人口：1,377,187人、  
世帯数：560,720世帯

#### 1 推計人口

平成29年8月1日現在の推計人口は、1,355,082人で、前月(1,355,763)に比べ681人の減少となった。

市部では大村市(140)、諫早市(43)、対馬市(5)の3市で増加し、長崎市(397)、佐世保市(139)、南島原市(72)、松浦市(62)、平戸市(48)、雲仙市(44)、西海市(37)、島原市(18)、壱岐市(6)、五島市(6)の10市で減少した。

郡部においては東彼杵町(10)、長与町(5)、波佐見町(2)の3町で増加し、新上五島町(27)、川棚町(16)、時津町(9)、佐々町(5)の4町で減少した。(小値賀町は増減なし)

自然動態は、出生数831人、死亡数1,300人で469人の減少、社会動態は、転入者数3,046人(県内転入を含む)、転出者数3,258人(県内転出を含む)で、212人減少となった。

#### 2 世帯数

平成29年8月1日現在の世帯数は、562,902世帯で前月(563,072)に比べ170世帯の減少となった。

(注)

異動人口推計 = H27国勢調査確定数 + 住民基本台帳(転入、転出、出生、死亡)

### 【賃金・労働時間・雇用(30人以上)】…6月

1人あたり現金給与総額 457,173円  
対前月比 80.1%増加  
対前年同月比 3.5%増加

#### 1 賃金

6月の常用労働者1人当たりの賃金をみると、現金給与総額457,173円で、前月に比べ80.1%増加し、前年同月に比べ3.5%増加した。

現金給与総額を定期給与(きまって支給する給与)と特別給与(特別に支払われた給与)に分けると、定期給与は247,075円で、前月に比べ0.3%増加し、前年同月に比べ0.3%増加した。

特別給与額は210,098円で、前年同月に比べ、14,708円増加した。

#### 2 労働時間

6月の常用労働者1人当たりの労働時間をみると、総実労働時間は162.4時間で、前月に比べ4.8%増加し、前年同月に比べ0.5%増加した。

総実労働時間を所定内と所定外に分けると、所定内労働時間は150.0時間で前月に比べ5.4%増加し、前年同月と比べ0.1%増加した。

所定外労働時間数は12.4時間で、前月に比べ0.8%減少し、前年同月に比べ7.0%増加した。

#### 3 雇用

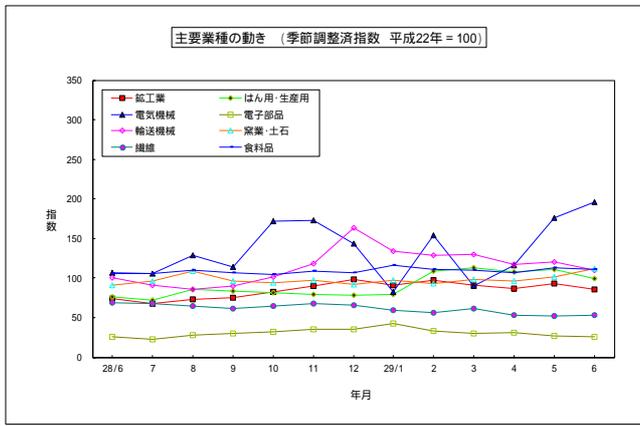
6月の常用労働者数は212,556人で、前月に比べ0.1%減少し、前年同月に比べ1.0%減少した。

### 【鉱工業生産指数】…6月

平成29年6月の鉱工業生産指数

(平成22年=100、九州は速報値)

区分	季節調整済指数		原指数	前年同月比(%)
		前月比(%)		
長崎県	86.1	7.0	87.6	15.6
九州	p108.7	p2.0	p112.8	p5.5
全国	102.3	2.2	106.1	5.5



平成29年6月の鉱工業生産指数は、季節調整済指数が86.1で前月比は7.0%の減、原指数は87.6で、対前年同月比は15.6%の増となった。

業種別にみると、電気機械工業、窯業・土石製品工業、繊維工業など5業種が上昇し、はん用・生産用機械工業、輸送機械工業、電子部品・デバイス工業、食料品工業など8業種が低下した。

主な上昇業種

業種	前月比 (%)	前年同月比 (%)	上昇に寄与した主な品目
電気機械工業	11.8	78.4	交流発電機
窯業・土石製品工業	10.3	21.2	生コンクリート
繊維工業	3.5	21.9	織物製下着・補正着・寝着類

主な低下業種

業種	前月比 (%)	前年同月比 (%)	低下に寄与した主な品目
はん用・生産用機械工業	10.3	31.1	ボイラ
輸送機械工業	9.1	7.2	新造船
電子部品・デバイス工業	4.1	4.2	半導体集積回路
食料品工業	1.1	5.7	水産練製品(すり身)

(注) 前月比は季節調整済指数の対前月増減率、前年同月比は原指数の対前年同月増減率のことである。

【長崎市消費者物価指数】…………… 7月

総合指数(H27=100)	100.3
対前月比 (%)	0.3
対前年同月比 (%)	0.3

平成29年7月の長崎市の消費者物価総合指数は、平成27年を100として、100.3である。

前月比は、0.3%の下落で、主な下落要因は「食料」の0.7%、「被服及び履物」の2.7%であり、主な上昇要因は「交通・通信」の+0.4%、「諸雑費」の+0.4%である。

前年同月比は、平成29年4月は+0.4%、5月は+0.7%、6月は+0.4%と推移した後、0.3%の上昇であった。

また、生鮮食品を除く総合指数は100.7であり、前月比は0.1%の下落、前年同月比は+0.6%であった。

(前月との比較)

上昇した費目

保健医療	0.1%
交通・通信	0.4%
教養娯楽	0.1%
諸雑費	0.4%

下落した費目

食料	0.7%
家具・家事用品	0.9%
被服及び履物	2.7%

【家計(長崎市・勤労者世帯)】……7月

消費支出(一世帯当たり) 313,735円  
前月比 12,597円増(4.2%増)

平成29年7月の長崎市・勤労者世帯(農林漁家世帯を含む)の消費支出は313,735円で、前月比4.2%の増。

平均消費性向(可処分所得に占める消費支出の割合)は66.9%であった。

主な支出内容	支出額(円)	前月比 (%)
食料	76,452	13.7
住居	23,436	0.3
光熱・水道	19,104	2.2
交通・通信	40,542	8.9
教養娯楽	33,044	47.1

(注) この調査は全国調査のため、長崎市における調査世帯数が少なく、結果が大きく変動することがあります。「長崎市の勤労者世帯の家計の平均」と考えず、参考値として利用ください。